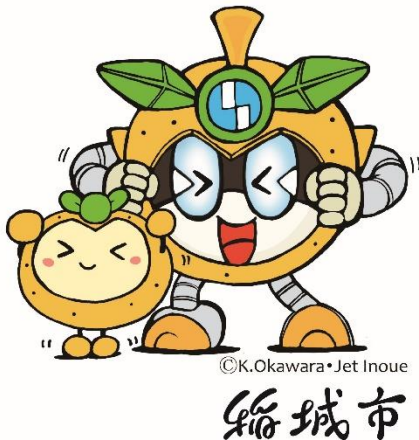


稲城市 地域共生社会フォーラム

# だれもが地域で 安心して暮らせるために

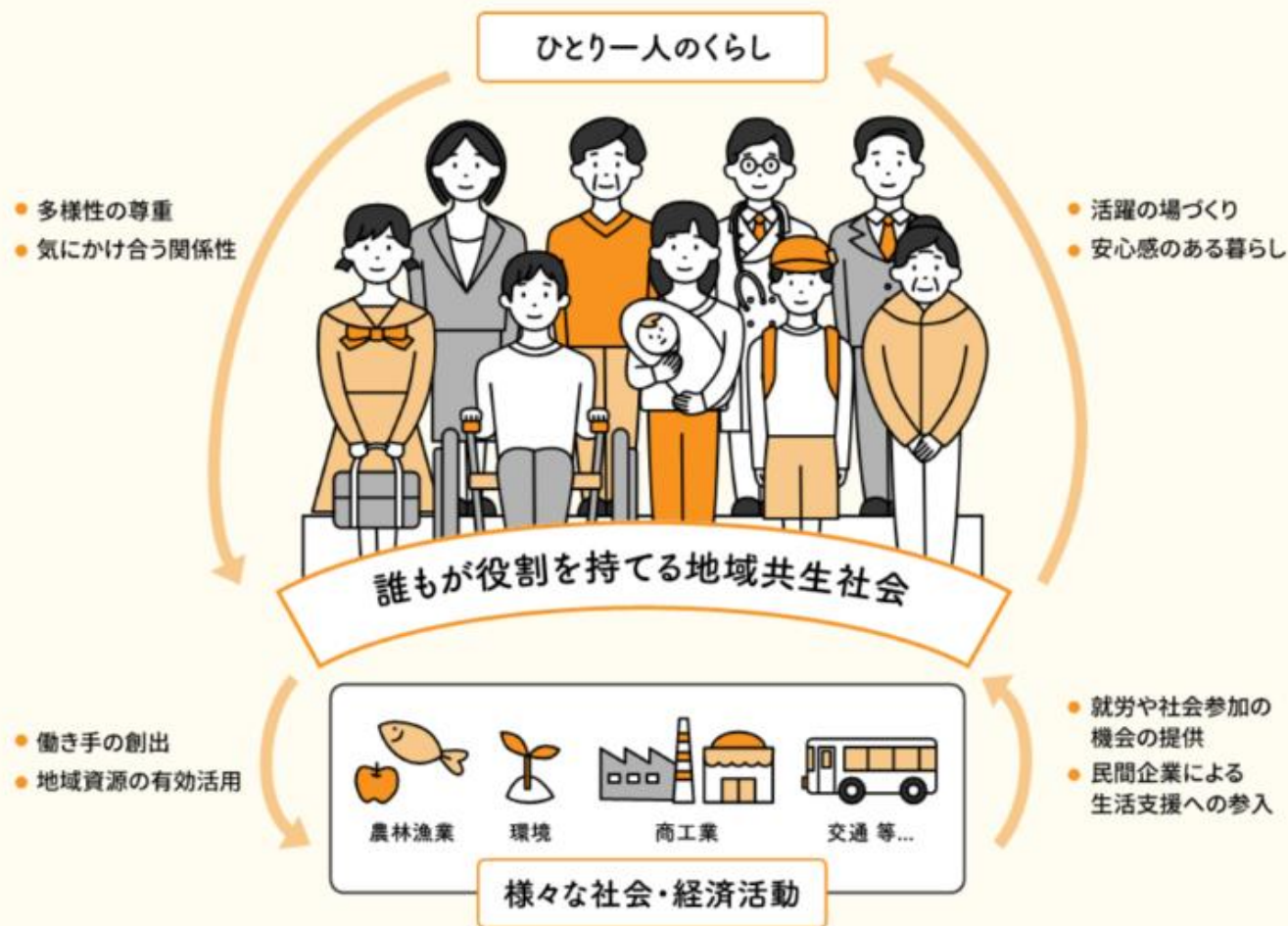
～地域共生社会の実現に向けて～



令和6年6月2日（日）午後2時

# 地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。



出典：厚生労働省ホームページ

# 複合的な課題を抱える世帯について どちらに相談していますか？



## 【お父さん】

仕事が不調  
減収が続いている  
いつもイライラ  
妻に怒鳴る  
金づかいが荒い  
(ギャンブル?)



## 【お母さん、次男】

子育てが辛い  
介護が辛い  
家事が手につかない  
家計管理が苦手  
住宅ローンが辛い  
隠れて借金  
家族に相談できない  
気分の落ち込み



## 【長男】

人間関係が苦手  
就職に失敗  
ひきこもり・ニート  
自信が無い  
一歩踏み出したい



## 【おばあちゃん】

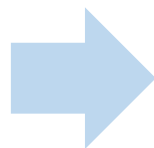
最近、急に衰えて  
きた  
介護は拒否  
嫁(娘)に頼りきり

# 稲城市保健福祉総合計画（地域福祉計画）策定 「これまで」と「これから」

## 現行「第三次」H30～R5年度

・ 保健福祉に関する総合計画として、保健福祉の各施策を「地域福祉」「高齢者福祉」「障害者福祉」「子ども福祉」「保健医療」の分野に分け、分野ごとに計画を記載。

・ 市町村地域福祉計画、老人福祉計画、市町村障害者計画、健康日本21における地方計画を内包。



## 「第四次」R6～11年度

・ 社会福祉法改正に準拠した「市町村地域福祉計画」として、各福祉分野が共通して取り組むべき事項を記載する福祉分野の「上位計画」として位置づけ。(個別計画については、別途分野ごとに策定)

・ 福祉分野横断的計画である「成年後見制度利用促進計画」を掲載。

・ 地域共生社会の実現を目指し、重層的支援体制整備事業実施計画を作成し、事業を開始。

## 第四次稲城市保健福祉総合計画 基本理念

だれもが地域でともに生き、健やかに安心して暮らせるまちづくり

基本目標2「適正な保健・医療・福祉サービスを選択できるまちづくり」

施策1 地域での自立生活を支える環境の整備

主要施策ア 包括的支援体制の充実

### 実施目標1

誰も取り残さない  
相談支援体制の構築

複合化・複雑化した課題を抱えた相談やどこの分野にも属さない相談を受け止める体制を構築することに加え、ひきこもりなど声をあげにくい市民・世帯に対し、早期に把握・介入をして、課題の深刻化や再発を防止します。

### 実施目標2

世代・属性を超えて  
多様なつながりが持てる  
地域づくりの推進

世代や属性を超えて、日頃から人と人、人と社会がつながり続けられる地域づくりを推進することで、望まない孤独や孤立を予防し、持続可能な自立支援体制を構築します。

### 実施目標3

分野を超えて世帯全体  
を支える体制の推進

対象者が表明する困りごとだけでなく、世帯全体の生活課題に対する連携・支援体制の確立・強化を図り、支援者をひとりにしない、分野を超えたチームで支援を推進します。

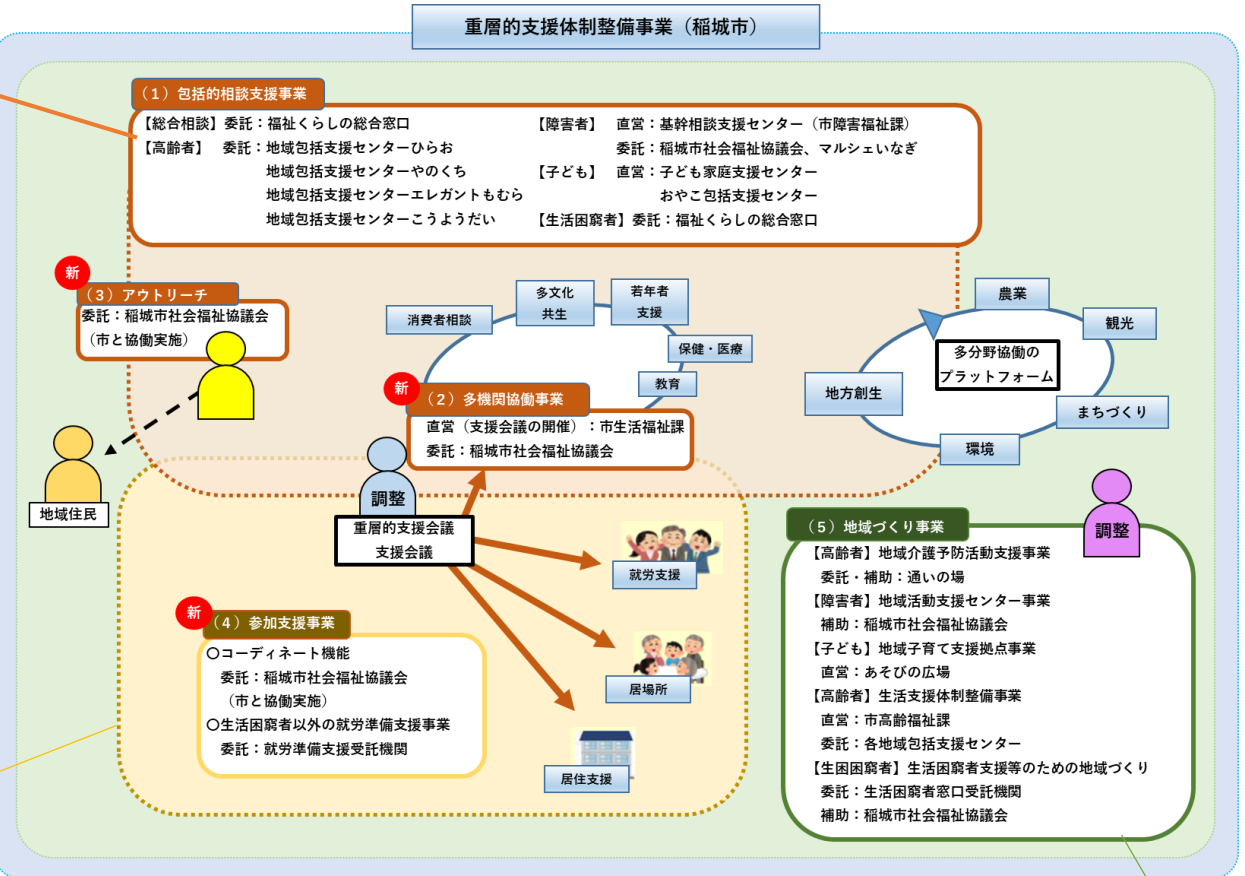
# 重層的支援体制整備事業の3つの柱と5つの事業と稲城市の実施体制

## 柱1 相談支援（課題を抱えた人や世帯を専門職等につなぐ）

- (1) 包括的相談支援事業  
相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的に相談を受け止める
- (2) 多機関協働事業  
受け止めた相談のうち、複雑化・複合化した課題がある相談の、課題の解きほぐしや関係機関間の役割分担を図り、各支援機関が円滑な連携のもとで支援できるように支援する
- (3) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業  
長期にわたりひきこもりの状態にある人など、自ら支援につながる事が難しい人の場合には、本人との信頼関係の構築を図り継続的な支援を行う

## 柱2 参加支援（課題を抱えた人や世帯を地域とつなぐ）

- (4) 参加支援事業  
相談者の中で、社会との関係性が希薄化しており、参加に向けた支援が必要な人には、本人のニーズと地域の居場所の間を調整します。



出典：稲城市重層的支援体制整備事業実施計画

## 柱3 地域づくりに向けた支援（様々なコミュニティーや分野での活動をつなぎ、人と人をつなぎ合わせていく）

- (5) 地域づくり事業を通じて住民同士のケア・支え合う関係性を育むほか、他事業と相まって地域における社会的孤立の発生・深刻化の防止をめざします。

# 稲城市の重層的支援体制整備事業の概要

～地域共生社会の実現へ～

- 1 令和6年度から開始
- 2 ひきこもりなど挟間や複合的課題への支援
- 3 「福祉くらしの総合窓口」の新設
  - ・生活困窮者の窓口に総合相談窓口機能を追加
- 4 社会福祉協議会との協働
  - ・社協職員を市役所内に配置し、市担当と密に連携して協働実施

福岡市 地域福祉・地域包括ケアシステムに関する基本情報

項目		内容				基準日	出処			
地域概要	人口構造	93,421人(91,775人外国人除く)	年少人口	生産年齢人口	老年人口	R5.1.1	統計いなぎ			
	年齢別人口	13,117人	14.0%	59,891人	64.1%	20,413人	21.9%	R5.1.1	統計いなぎ	
	就業状況・産業別人口 (産業別の16歳以上就業者数)	製造業	4,207人	卸売業・小売業	5,844人	R2.10.1	統計いなぎ			
	行政区数	地区	最大	最小		R5.1.1	統計いなぎ			
	世帯数	42,397世帯								
	高齢者									
	一人暮らし高齢者数(地区別)	3,981人/26,416人				R2.10.1	統計いなぎ			
	介護保険・要介護認定者数	3,277人	認定率	16.0%						
	65歳～74歳	341人		3.6%			R5.3.31	●世帯別・世帯ごとの ●世帯別・世帯ごとの		
	75歳以上	2,936人		26.4%						
5歳年齢区分毎の要介護認定者出現率	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上				
地区毎(10地区)の要介護認定率	2.3%	4.8%	10.8%	22.7%	44.0%	70.2%	R5.3.31	●世帯別・世帯ごとの		
障害者数及び関連して問題を抱えている可能性のある人(世帯)	第1圏域683人15.7%、第2圏域778人17.7%、第3圏域975人16.4%、第4圏域756人12.7%						R5.10.1	●世帯別・世帯ごとの		
障害者手帳所持者数	3,512人									
精神障害者保健福祉手帳	915人	1級	48人	2級	433人	3級	434人	R4.4.1	統計いなぎ	
療育手帳(知的障害)	18人	2級	112人	3級	114人	4級	326人	R4.4.1	統計いなぎ	
在宅一人暮らし障害者数	身体障害(1～2級)	人	人	人						
	知的障害	人	人	人						
	精神疾患	人	人	人						
「8050問題」世帯数(推定)	世帯									
「ひきこもり者」数(推定)	人	15～39歳	人	40～64歳	人					
児童・生徒										
児童・生徒数	保育所	2,081人	幼稚園等	1,715人	小学校	5,370人	中学校	2,433人	R4.4.1	統計いなぎ
要保護児童・生徒数	小学校	504人	中学校	284人				R5.3.1	事務報告書	
就学援助児童・生徒の比率	10.1%	(要保護児童・生徒数/公立小中学校児童生徒総数)						R5.3.1	事務報告書	
低所得者層										
生活保護世帯数	897世帯	1,149人								
生活福祉資金貸付数	医療扶助	852人	生活扶助	981人	介護扶助	201人			R4年度	統計いなぎ
在在外国人	46世帯									
主な国籍別人数	1,899人								R6.4.30	市市民課
	中国: 581人、韓国: 265人、オーストラリア: 158人、アメリカ: 156人、インドネシア: 123人(※65歳未満1899人)									
判断能力に不安のある人										
日常生活自立支援事業利用者数	75人	高齢	33人	知的障害	17人	精神障害	25人		R5年度末	福祉報告書
成年後見制度利用者数	137人								R4.12.31	家族支援資料
福祉施設										
保育所	市立1圏(園児数90人)、私立17圏(1,991人)								R4.4.1	統計いなぎ
入所型福祉施設	特養3か所、老健1か所、有料老人ホーム4か所、認知症グループホーム6か所 障害者生活介護5か所								R5.4.1	各種手引き
医療機関	福岡市立病院								R4年度	●世帯別・世帯ごとの
	診療科別診療状況(透析科腎臓内科) 入院+外来	令和4年度	12,486人	2011年						
教育関連機関 (学校数及び学級数)	小学校12校(学級数190クラス)、中学校7校(79クラス)								R4.5.1	統計いなぎ
財政力指数	0.936(単年度0.936)								R4年度	決算概要
拠出年金受給額	老齢基礎年金	126億3,259万9千円	障害基礎年金	9億6,282万9千円					令和3年度	統計いなぎ
医療・介護に対する公費負担の状況										
医療費(国保のみ)	R4年度	48億2,952万円	R2年度	46億6,817万円					R4年度	●世帯別・世帯ごとの
うち人工透析	R4年度	51件 2億5,973万円	R2年度	67件 2億9,382万円					R4年度	●世帯別・世帯ごとの
年代別シフトに占める生活習慣病者比率(国保分)	50歳代	61.3%	60歳代	76.5%					R4年度	●世帯別・世帯ごとの
	65～74歳	61.3%	70～74歳	76.5%						
介護給付費	令和4年度	479,775万円	令和2年度比較	427,066万円					R2・R4年度	特別会計決算書